問 新田辺駅東側 危険な駅前広場の整備を

答 歩車分離を図るべきと認識

南部 登志子 議員（政友クラブ）

❶㋐個別ごみ収集が1月から実施されることになった。対象者への周知を確実に。㋑空き缶・瓶・ペットボトルの収集を月2回に増やすか、スーパーや地域の再生資源集団回収でも回収できるように工夫を。㋒スプレー缶の処理方法が難しい、怖いという声をよく聞く。穴を空けずに出されると爆発する可能性もあるので、ごみ収集に携わる職員にも危険である。対策を検討されたい。

経済環境部長　㋐広報やHPに掲載するほか、事業者やヘルパーさんを通じて周知徹底していく。㋑月1回の収集で対応できている。㋒甘南備園に相談いただければ、個別に対応する。

❷海外からの渡日家族が、日本の行政システムや教育制度を理解することは困難である。個別に丁寧な案内をするだけではなく、通訳や翻訳をつけることも必要であると考えるが。

保健福祉部長　人材確保の問題などもあり、十分な対応ができていない状況。個々に丁寧に対応したいと考えている。

❸海外駐在などで帰国した児童や生徒に対して、学習課題や適応課題を整理し、適切な対応をとること。また、必要な場合は専門カウンセラーの配置が必要と考えるが。

教育部長　基本的には他の児童と同様のとらまえ方をしている。

❹新田辺駅東側駅前付近では、送迎の車や運搬トラックだけでなく、通行車や単車、自転車がびゅんびゅん走っている。その中を、高齢者が手押し車をひいて歩いておられる。この危険な広場は市が責任をもって整備すべきと考えるが。

通行車両などが行き交う新田辺駅東側

建設部長　その状況がよいとは認識してない。市道は、市が責任を持って、交通安全、歩車分離を図るべきと認識している。商店街でもあり、ボンエルフ道路的な整備も検討すべきかもしれない。

問 特養の待機者なくす計画を

答 23年度、計画策定で検討

増富 理津子 議員（共産党）

❶「利用したくても入れない。」「特別養護老人ホームをつくってほしい。」との声が多く寄せられている。待機者が減っているどころか増えているのが現状である。特別養護老人ホームの待機者をなくすための計画をつくるべきである。

保健福祉部長　京都府に施設整備を要望する。また、次期の高齢者保健福祉計画の中で在宅サービスの充実や小規模特養も検討する。

特別養護老人ホームでの利用者の様子

❷空き住宅などを利用して、小学校区に一カ所程度、いつでも集える高齢者の居場所設置を進めるべきである。市の考えを問う。

保健福祉部長　新設による施設確保は難しい。既存施設の円滑な運営と公民館などの活用も今後考えていきたい。

❸中学生の「食」のあり方について、そしてその中で学校給食がどのような役割を果たすのか見解を問う。

教育長　給食は、学校教育の中で「食育」を実践していくうえでの一つの方策として、その意義や役割がある。給食実施については、保護者負担が軽減されるが、家庭で取り組まれている「食育」の努力が失われてしまう側面がある。学校運営上の課題もあり、本来の食育の視点が欠けて、単に給食を食べさせるだけとなってしまう恐れがある状態の中で、学校給食を実施するのは望ましいとは考えていない。

❹「ヒブワクチン」や「肺炎球菌ワクチン」の公費助成に向けて、市の考えを問う。また、子宮頸がん予防ワクチン接種の拡充について問う。

保健福祉部長　小児用肺炎球菌、ヒブに対するワクチン接種は、22年度から無料実施する。子宮頸がん予防ワクチン接種は、対象を中学1年生から高校1年生まで、該当する年齢の女子に拡大し実施する。

問 夏の市民イベント実施を

答 機運の高まりにより支援

奥村 良太 議員（政友クラブ）

❶私たち若年層の願いを背負い、気持ちを込め問いかけたい。毎回毎回の質問であるが、市民まつりについて大きく質問したい。

私たちは、現在20人ぐらいが集まり、検討委員会まではいかないが、市民イベントやまつりのことについて何度か集まり、企画会議を行っている。

かつての夕涼みのつどいで夜空に彩られた花火

京田辺市において、キララフェスタや各地域でさまざまなイベント等が行われている。区・自治会は別として前向きに進んで行くためにも、夏に行われている行事をまとめることはできないかとも考えている。

キララフェスタ等も同様に、京田辺市を盛り上げるという考えで、市においても地域活性を考える観点から、すべてを取り巻いた大きなイベントを行う考えはないのか。

以前の一般質問では、企画等をいただければとの答弁があったが、商工会、観光協会などの力を借りることができれば、もっと大きな力になり、スピードを増して進むと考える。開催時期については、8月16日が小さな同窓会になったので、1年に1度の楽しみにもなりいいと思う。

行政としては、以前行われていた夕涼みのつどいのような市民イベントは考えているのか。

経済環境部長　市民まつりについては、実施を含めどのような形や内容がいいのか検討が必要であると考える。市民の方々の意欲や盛り上がり、あるいは経済界から積極的な支援などが市民まつりの原動力であると考えている。そういう機運が高まれば実施に向けた支援は行っていきたい。

❷形、内容といった企画等が具体的なものになれば支援等は考えてもらえるのか。

経済環境部長　やはり盛り上げると言うことが一番大事であると考えるので、支援はさせていただきたいと考える。

問 都市計画税率の引き下げを

答 時期については慎重に検討

水野 恭子 議員（共産党）

❶都市計画税の税率引き下げを。京田辺市民の一世帯あたりの年間所得は、この10年間で平均約86万円も下がっている。月に換算すると7万円も減ったことになる。都市計画税は減免制度もなく、所得が減っても関係なく徴収される。府内で2番目に高い都市計画税の税率を引き下げるべき。

区画整理が進むＪＲ三山木駅周辺

市民部長　都市計画税の税率については、大型の都市計画事業が終息に近づきつつあることから、見直しの時期が近づきつつあると認識している。未着手の事業も存在することや、現下の厳しい財政状況を考えながら、慎重に考える。

❷未着手の事業とは何か、その計画を示せ。

建設部長　新田辺草内線など課題であるが、数字では示せない。

❸田辺町史や近代史の元となる古文書の保存は大事であるが、どのようにされているのか。また、古文書を読める職員の配置をすべきと考えるが市の考えは。

教育部長　保存方法については、十分検討したい。職員については郷土史会の協力も得て取り組みたい。

❹小学校給食の民間委託について、栄養士は正職員を配置し、調理室にオーブンの設置を。

教育部長　栄養士については、正職員は考えていない。オーブンはスペースから設置が難しい。

❺大住児童館の開館時間の延長と日曜・祝日の開館を。

保健福祉部長　夏季の開館時間は検討。日曜・祝日の開館は、利用者の声を聴きながら今後検討。

❻ＪＲ松井山手駅に障害者の一時駐車場を。

建設部長　今後、どのような対策が可能か、検討したい。

❼大住汚水処理施設の跡地の有効活用を。

保健福祉部長　改修について福祉施設としては考えていない。